畜産団地、園芸ハウス団地の整備に向けた
候補地の公募について

JA 壱岐市で策定した第9次営農振興計画の取組として、畜産及び園芸部門での生産基盤の拡大に向けた候補地を公募します。
希望される地域又は集落営農組織については、下記の通り御要望をお寄せ下さい。

プロジェクト区分１：畜産団地

概要：JA にて設置を予定する 100 ～ 500 頭規模の牛舎について、地域の畜産の拠点・補完機能として地域の畜産農家との共生により事業を稼働していきます。
＊用途区分（直営繁殖牛舎 / 直営肥育牛舎 / 貸出牛舎など：仕様・規模・経営区分は別途協議）
候補地の選定にあたっては、用地の貸出提供だけでなく、市有地等の活用も検討しておりますので、遊休市有地の活用に向けた地元要望についてもお寄せ下さい。特に、畜産施設の設置・稼働にあたっては、地域住民の方との合意が必要となりますので、合意形成・設置推進にご協力いただける地域の掘り起こしを進めていきます。

プロジェクト区分２：園芸団地（ブリッジハウス）

概要：整備から３～５年間 JA にて経営を行います。十分な収益が上がるようになった頃を目途に、地元組織への経営移譲を行います。JA で経営する間に、移譲後の管理者候補、従事者候補の方の技術研修・育成を雇用にて行います。いずれも地元からの人材活用を想定していますので、移譲後の円滑な経営が可能となります。
＊設置規模 50a 規模のハウス（用地 60a 程度～）/ 品目：アスパラガス
＊メリット：地元雇用の創出初・期投資の抑制、技術習得、経営初期のランニングコスト抑制
＊要件：集落営農等の経営を承継できる組織があることが要件となります。

プロジェクト区分３：園芸団地（アパートハウス）

JA でハウス団地を整備し、品目を指定して複数農家の入植を行う取り組みです。アムスメロン・ミニトマトを第1弾の品目として設定し、整備地域を検討しています。期間を定めて入植し、利用期間に応じた賃料を支払うことで、設備投資不要でアムスメロンやミニトマト栽培への取り組みを可能とする支援事業です。設置にあたって、農地の面的なまとまりがあること、長期間の農地の借入契約が可能であることが要件となりますので、所有農地の活用方法として賛同いただける組合員の皆様にご協力をお願いします。

プロジェクト区分４：基盤整備候補地

圃場整備(再整備･排水対策のみ･狭地直し含む) を検討したい地域についても要望を取りまとめます。生産性向上、農地利用の利便性向上に向け、地域の担い手づくりの機会としてぜひ前向きな検討をお願いします。事業化への検討にあたっては、勉強会、検討会と順を追って継続的な支援体制を敷くこととしていますので気負い無くご相談下さい。
【圃場整備を行う上で活用する事業と概要】
①農地中間管理機構関連農地整備事業
　＊地元負担無し / 受益面積 5ha 以上及び 15 年以上の中間管理権設定などが要件
　＊区画整理（農地のみ対象）
②畑地帯総合整備事業
　＊地元負担（市＋地元）16.5%　→集積率により実質負担緩和可
　＊受益面積 10ha 以上及び担い手への 50%以上の集積などが要件
　＊区画整理（一部山林原野含み可）
③農地耕作条件改善事業
　＊地元負担（県 0「15」）（市＋地元）45%　→県及び市の補助は要件による
　＊受益面積 0.5ha 以上（2 戸以上・事業費 200 万円以上）
　＊区画整理・畑かん・排水改善・フォアスなど

第１次公募締切
R4 年 11 月末まで

＊公募については、２次・３次と継続的に実施する予定です。
＊締切を設定しておりますが、随時要望が上がった地域から、候補地の選定・協議・採択手続きを進めることとします

お問い合わせ先
JA壱岐市農業振興課（営農センター内：TEL45-3805）